

第9回 平成28年熊本地震復旧・復興本部会議 次第

令和4年（2022年）4月15日（金） 15：30～16：30

於：本館5階 知事応接室

1 黙 禱

2 開 会

3 本部長（知事）挨拶

4 【第一部】

・「創造的復興に向けた重点10項目」の進捗状況報告（各部局より）

5 【第二部】

・創造的復興の先にある地方創生（「5つの安全保障」）について

・有識者からの助言

6 閉 会

※会議終了後、知事記者会見

熊本地震からの創造的復興の状況について
～ 誰一人取り残さないくまもとづくり～

令和4年(2022年)4月

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名 [担当部]	蒲島県政3期目				蒲島県政4期目							
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度				
① 健康福祉部、土木部 「すまい」の再建		H29.5 【ピーク時】 20,225世帯 47,800人	すまいの再建6つの支援策、 個別・重点的な対応、見守り体制の強化	R2.3末 1,296世帯 3,122人	R3.3末 150世帯 418人	R4.3末 37世帯 95人			2027年度 完了			
		H28.11 応急仮設住宅 (4,303戸) 整備完了		R2.3末 災害公営住宅 (1,715戸) 整備完了								
		完了		・ピーク時から 9割を超える方が再建を実現 ・全ての世帯で再建の方向性に目途								
② 環境生活部 災害廃棄物の処理 完了		完了	公費解体 災害廃棄物の処理	H30.12 災害廃棄物 処理完了								
				二次仮置場の廃棄物 処理プラントが岡山県 で再活用								
重点10項目 ③ 土木部、企画振興部、農林水産部 阿蘇へのアクセス ルート(道路、鉄道) の回復	道路	完了	無人施工		R2.10.3 開通							
		完了	無人施工		R2.10.3 開通							
		完了	橋梁工事着手		R3.3.7 開通							
		完了	暫定開通		R1.9.14 開通							
	鉄道	完了	完了	県砂防・治山工事の実施 【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、 JR復旧工事(肥後大津駅～立野駅間の先行的な復旧工事)	R2.8.8 運行再開							
			再生協議会設立、国の支援スキーム決定、復旧工事(立野駅～中松駅間)		R4.4.1 (一社)南阿蘇鉄道 管理機構 設立	R5.4 上下分離 開始予定		2023年夏 までに運行再開				
④ 教育庁、土木部 熊本城の復旧	完了	熊本城復旧 基本方針の 策定(市)	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援	R1.10.5 特別公開① (大天守外観)	R2.6.1 特別公開② (特別見学 通路)	R3.6.28 特別公開③ (天守閣 内部公開)			2037 年度 復旧完了			
		重要文化財 等	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援	R3.1末 重要文化財 長塙復旧完了				R5.12 重要文化財 監物櫓復旧完了				
⑤ 土木部 益城町の 復興まちづくり	熊本高森線 4車線化	H29.2.3 都市計画 決定	H29.3.10 事業認可	H30.4.1 益城復興 事務所 開所	H31.1～ モデル 地区 先行整備	R2.3末 モデル 地区 完成	用地買収促進 車道部整備着手	用地買収 90% 工事促進	R4.5末 益城町 惣領 にぎわい 拠点 オープン	用地買収 95% 工事促進	R6.3末 惣領まで 4車線化 概ね完了	2025 年度 事業完了
	益城中央被災市街地復興土地区画 整理事業	H30.3.8 都市計画 決定	H30.10.5 事業計画 決定	R1.6末 仮換地 指定	R1.11～ 工事 着工	R2.6～ 宅地 引渡し	仮換地指定70% 造成工事、宅地引渡し	R4.4.1 益城町 復興 まちづくり センター オープン	仮換地指定85% 造成工事 宅地引渡し	R5.春頃 益城町 新庁舎 完成	R6.3末 宮園地区 引渡し 概ね完了	2027 年度 事業完了

熊本地震からの創造的復興の状況について

令和4年(2022年)4月

～誰一人取り残さないくまもとづくり～

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名 [担当部]		蒲島県政3期目				蒲島県政4期目							
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度				
重点10項目	⑥ 商工労働部	被災企業の事業再建		グループ補助金による施設・設備の復旧 R2.3末 交付決定: 99.7% 復旧完了: 98.9%				R3.3末 交付決定: 99.8% 復旧完了: 99.7%		R4.3末 交付決定: 99.8% 復旧完了: 99.8%		グループ補助金と同スキームの 県単独事業による支援(残り10件) 2023年度末 復旧完了	
	⑦ 農林水産部	被災農家の営農再開 完了		大豆転作等で 営農継続支援 R2.3末 営農再開率 99.8%				R3.3末 営農再開率 100%					
重点10項目	⑧ 企画振興部	大空港構想 NextStageの実行		「大空港構想 NextStage」策定 H31.3 優先交渉権者決定 R1.7~ 運営権者によるビル事業開始 R2.4~ 運営権者による全事業開始 R2.4.7 国内線別棟ターミナルビル供用開始 R3.1 新ターミナルビル着工 2023年春 完成				空港アクセス鉄道整備 交通システムの比較検討、鉄道整備の概略調査 鉄道整備に関する基本的方向性をJR九州が同意 鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望 R2.12~ 空港アクセス検討委員会開催 鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望 三里木ルートに加え、原水ルート、肥後大津ルートの追加調査 ⇒R4年中: 調査結果公表					
		⑨ 土木部、観光戦略部	八代港のクルーズ拠点整備 完了		H29.1 『官民連携による国際クルーズ拠点』を形成する港湾』に選定 H29.7 『国際旅客船拠点形成港湾』に指定 H30.2 八代港クルーズ拠点形成協定の締結(国・県・RCL) (国)クルーズ船専用岸壁(県)駐車エリア、屋根付き通路等(RCL)旅客ターミナル、おもてなしゾーン H30.12 三者で基本計画発表 R2.3 くまモンポート八代完成 R2.10.31 ~ プレオープン(県民向け公園として開放)								
後世への継承	⑩ 観光戦略部	国際スポーツ大会の成功 完了		2019女子世界ハンドボール大会 完了 R1.11.30~12.15 本大会									
		ラグビーワールドカップ2019 完了		R1.9.20~11.2 本大会(10/6、13熊本会場)									
後世への継承	⑪ 知事公室、観光戦略部	熊本地震震災ミュージアム 中核拠点の整備		R1.9 震災ミュージアム基本計画策定 R2.8~ 震災遺構(旧東海大学の校舎・断層)の一般公開 旧東海大学 体験・展示施設の整備 防災センター(1階) 展示スペースの整備 2023年度 ・旧東海大学 体験・展示施設完成(R5夏オープン予定) ・防災センター 展示スペース完成(R5.4オープン予定)									
		ONE PIECE 熊本復興プロジェクト		ルフィ像(県庁) サンジ像(益城町) ウソップ像(阿蘇市) チョッパー像(熊本市) ブルック像(御船町) フランキー像(高森町) ナミ像(西原村) ロビン像(南阿蘇村) ゾロ像(大津町) ジンベエ像 7月下旬設置予定 2022年度 完成 南鉄全線再開(R5夏にあわせたコラボ事業) 熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ(地域の魅力創造プロジェクト)									

熊本地震からの創造的復興について

令和4年4月

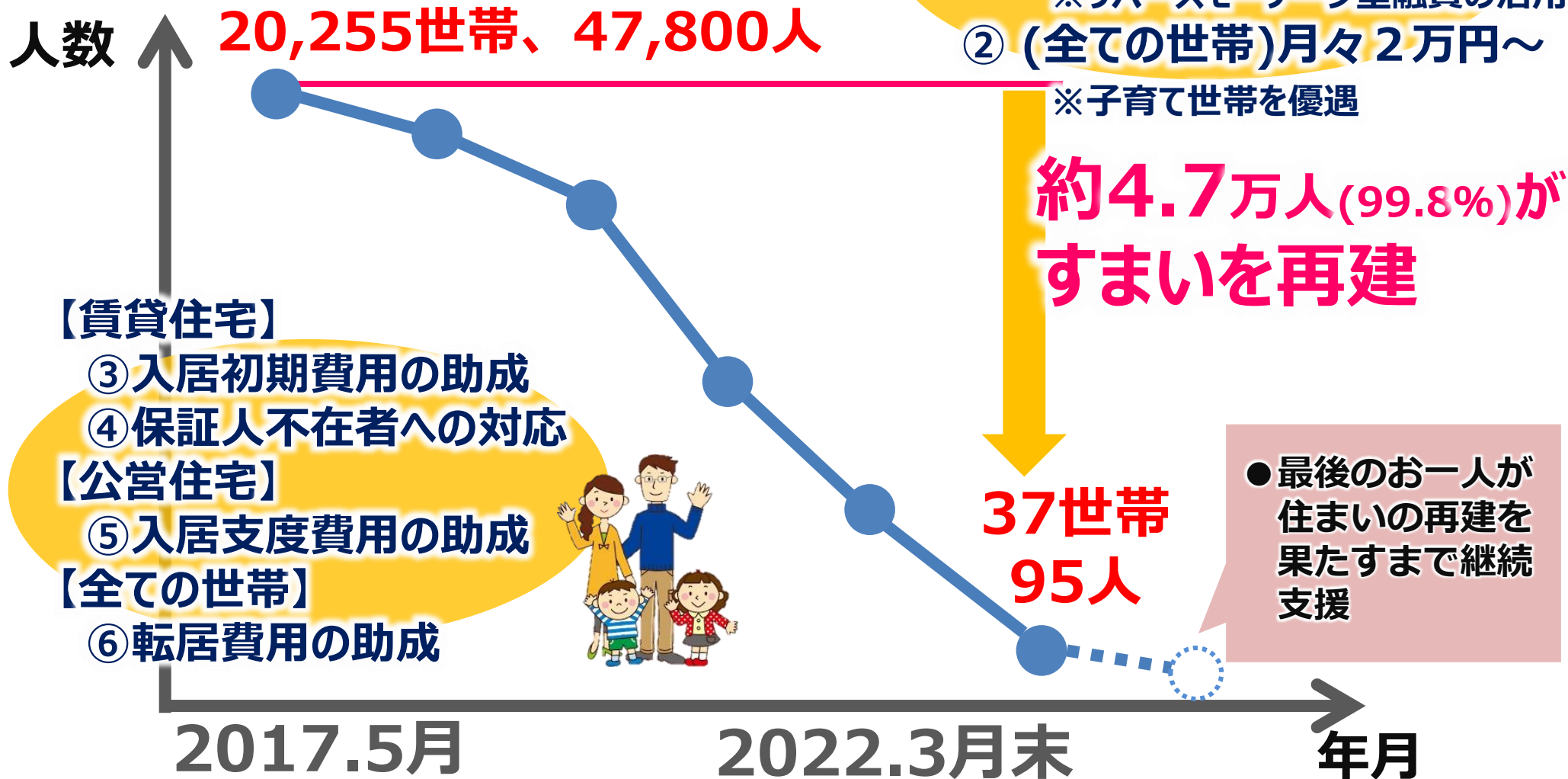
熊 本 県

1. 「すまい」の再建
2. 災害廃棄物の処理
3. 阿蘇へのアクセスルートの回復
4. 熊本城の復旧
5. 益城町の復興まちづくり
6. 被災企業の事業再建
7. 被災農家の営農再開
8. 大空港構想NextStageの実行
9. 八代港のクルーズ拠点整備
10. 国際スポーツ大会の成功

1. すまいの再建

「熊本県独自の6つの支援策」

仮設住宅入居者数



【自宅再建】

借入の利子に対する助成

① (60歳以上)月々1万円～

※リバースモーゲージ型融資の活用

② (全ての世帯)月々2万円～

※子育て世帯を優遇

【賃貸住宅】

③ 入居初期費用の助成

④ 保証人不在者への対応

【公営住宅】

⑤ 入居支度費用の助成

【全ての世帯】

⑥ 転居費用の助成



● 最後のお一人がすまいの再建を果たすまで継続支援

1. 「すまい」の再建

2020年3月末にすべての災害公営住宅が完成！
(12市町村 68団地 1,715 戸)



写真提供:UR都市機構

益城町 馬水団地



御船町 上高野団地

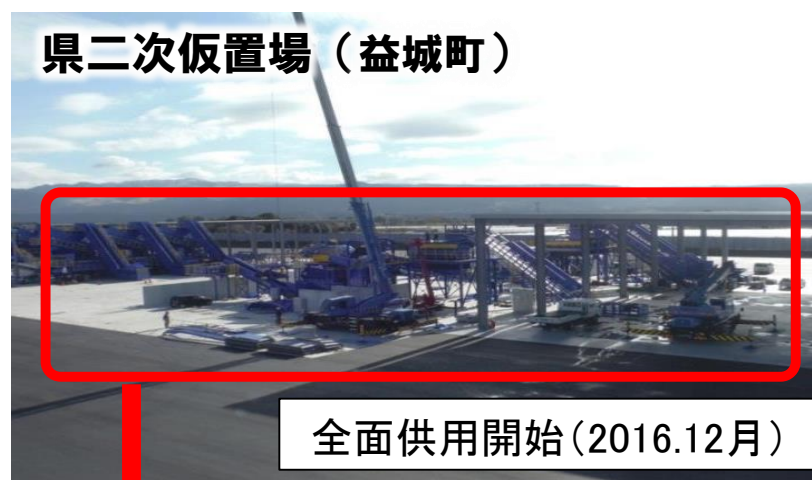
2. 災害廃棄物の処理

◆2018年12月末に全ての市町村で公費解体と災害廃棄物の処理が完了。

①公費解体済数: 35, 675棟

②災害廃棄物処理量: 約311万トン 再生利用率: 78.2%〔目標の70%以上を達成〕

地震直後(2016年)



処理完了後



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～道路～

国道57号／国道325号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後(2016年)



現在(2022年)

2020年10月3日 開通



2021年3月7日開通



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～鉄道～

JR豊肥本線



JR豊肥本線

◀ JR豊肥本線
沿線斜面崩壊等により
肥後大津駅～阿蘇駅間が
不通に

南阿蘇鉄道▶
トンネルや橋梁に甚大な被害
が発生し、立野駅～中松駅
間で運休中

南阿蘇鉄道



第一白川橋梁
(変形等)

地震直後
2016年

県斜面对策工事
(治山)



JR豊肥本線

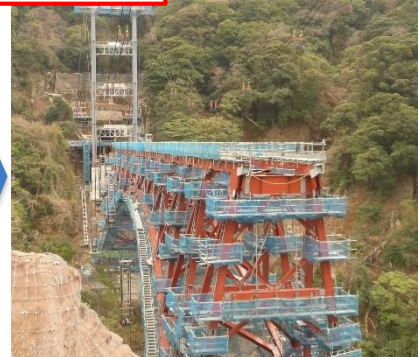


◀▲ JR豊肥本線
2019年度末 国・県工事概成
2020年8月8日
全線運行再開

第一白川橋梁架橋の様子



2022年1月



2022年3月

南阿蘇鉄道▶

2022年4月1日(一社)南阿蘇鉄道管理機構設立
→ 2023年度から上下分離方式に転換予定

2022年度復旧工事完了予定

→ 2023年夏頃までに全線運行再開予定、再開と同時のJR豊肥本線乗入れを目指す

現在
2022年

4. 熊本城の復旧

地震直後 (2016年)



2016年4月22日 頼当御門から天守閣方面



2016年4月22日 飯田丸五階櫓被災状況

現在 (2022年)



2021年6月28日 天守閣内部公開開始



2022年3月31日 公開中の特別見学通路

5. 益城町の復興まちづくり

県道熊本高森線4車線化(約3.8km)

2025年度事業完了を目標

地震直後(2016年)

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動に支障が発生。

被災状況



被災状況



現在(2022年)

【進捗状況】合計L=3.8km

- ・歩道着手：約3.7km(上下線合計)
(うち約1.8kmが完成)
- ・車道着手：約1.0km

現在の状況



現在の状況



- ・「惣領にぎわい拠点」がオープン予定。(令和4年5月末)
- ・令和5年度末までに惣領交差点迄の約1.6kmを部分供用開始予定。

惣領にぎわい拠点



上空からの写真



5. 益城町の復興まちづくり

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業（約28.3ha）

2027年度事業完了を目標

地震直後（2016年）

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生。

被災状況（寺迫地区）



被災状況（宮園地区）



現在（2022年）

【進捗状況】全462画地

- ・仮換地指定：約7割(319画地)
- ・引渡し済画地：約2割(88画地)

すまい再建状況（寺迫地区）



すまい再建状況（宮園地区）



【都市拠点の整備状況】

- ・復興まちづくりセンターが開所。
- ・令和5年春に新庁舎が完成予定。

復興まちづくりセンター



新庁舎建設の状況



6. 被災企業の事業再建

グループ補助金による復旧支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援（2022年3月末現在）

506グループ認定
構成者数

9,452 件

※補助金申請を要しないテナント等が含まれる

補助金申請件数
(予定含む)

4,707 件

補助金の交付決定

4,698 件

交付決定済 99.8%

復旧完了

4,697 件

復旧完了済 99.8%

地震直後（2016年）

現在（2022年）

～事業者復旧の一例～



7. 被災農家の営農再開

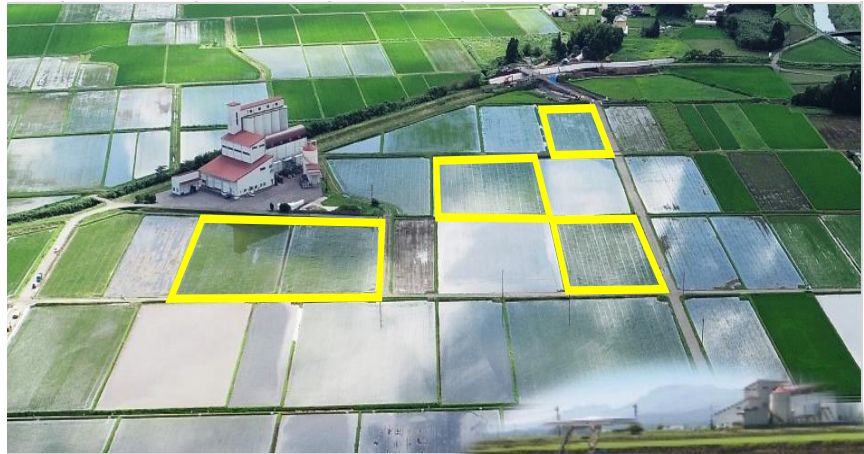
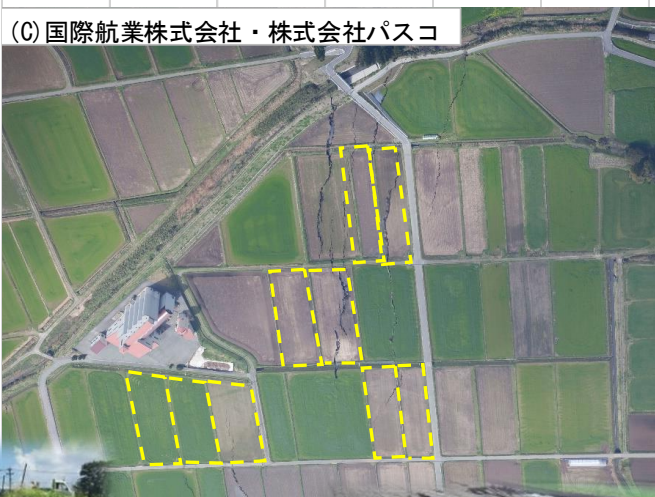
地震直後 (2016年)

営農再開

畜舎の復旧
(菊池市)



農地の大区画化による
創造的復興(阿蘇市)



取組みの概要

- 農地や営農施設の復旧事業により営農再開を目指す農家については、**令和2年度末までに全てが営農再開。**
- 創造的復興の取組みとして、秋津地区（熊本市・益城町）、阿蘇谷地区（阿蘇市）、乙ヶ瀬地区（南阿蘇村）で区画の拡大等の基盤整備を完了。
- 今年度から新たに、**立野地区（南阿蘇村）**において、**基盤整備事業に着手。**
- 今後とも、市町村と密に連携し、生産者の意向に沿えるよう最善を尽くして参ります。

立野地区（南阿蘇村）の取組み



創造的復興
(農地の集積等)

(高収益作物の導入)

新たな担い手として、納豆、豆腐の製造・販売を手掛けている**県内メーカーのグループ会社（農業法人）**が参画予定。

なお、地区内で生産された**大豆は同メーカーへ契約販売**予定。

(新たな担い手としての農業法人の参入)



大切畑ダム（西原村）の取組み



ダム本体工事実施中



令和7年度工事完了

8. 大空港構想NextStageの実行

コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興

地震直後（2016年）



2016.12
コンセッション方式
による国内線・国際線
ターミナルビルの一体的
整備・耐震化を表明

現在（2022年）

- 2019.3 優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
- 2019.4 空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
- 2020.4.1～ 熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
- 2020.4.7～ 国内線別棟ビル供用開始
- 2021.1.15～ 新旅客ターミナルビル着工



2023年春 国内線・国際線一体型の新ターミナルビル完成



2051年度目標値

- ◆ 国際線17路線
- ◆ 旅客数622万人
(うち国際線175万人)
- ◆ SKYTRAX 5スターを取得

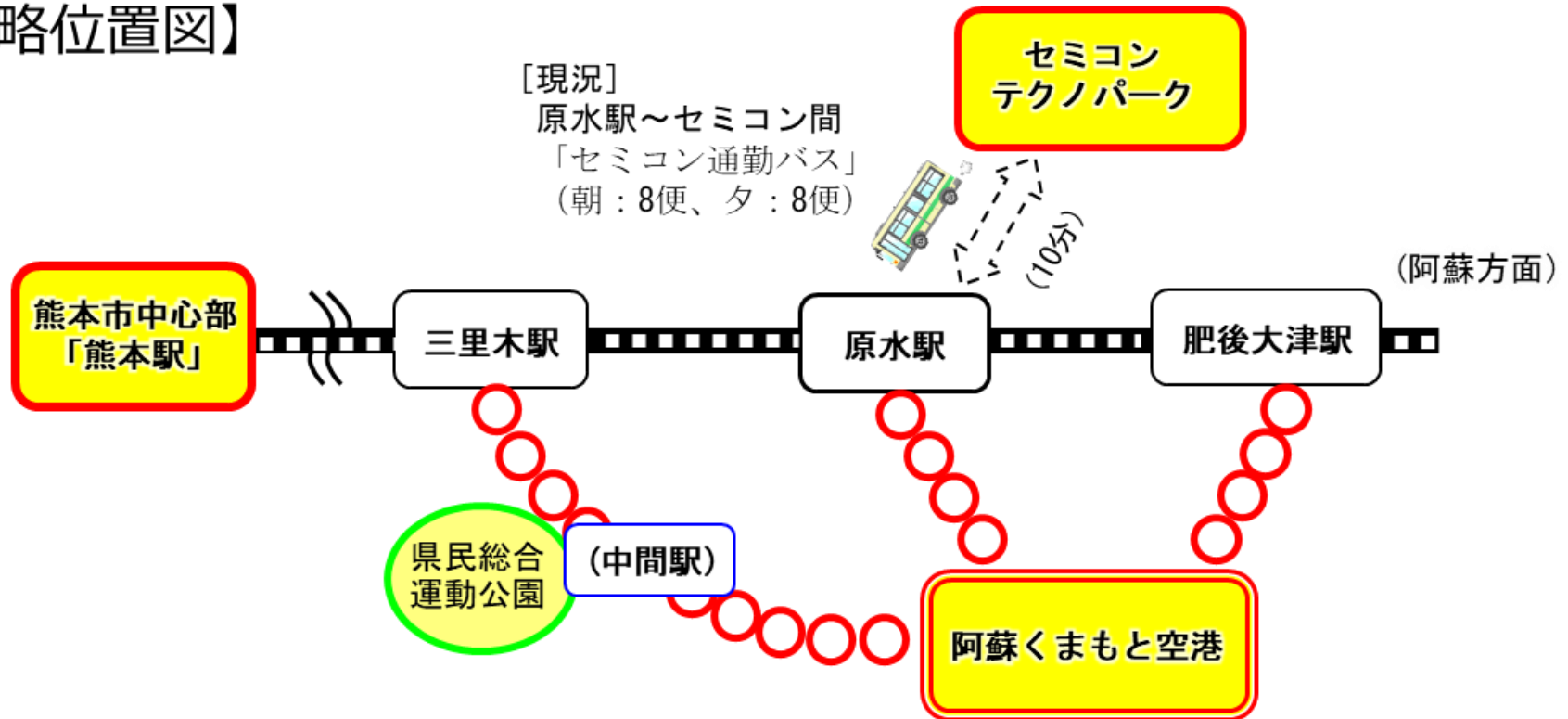
8. 大空港構想NextStageの実行

空港アクセス鉄道の実現に向けた取組み

〔TSMC進出等を踏まえ、「三里木ルート」に加え、「原水ルート」「肥後大津ルート」の追加検討を実施中〕

- ルートの追加調査を実施し、セミコンテクノパークへのアクセス改善、沿線住民の利便性向上、ひいては、熊本都市圏のみならず県内全域の交通ネットワークの強化につながるよう、より効率的で効果の高いルートについて、比較検討を行う。
(令和4年中に調査結果公表予定)

【概略位置図】



9. 八代港のクルーズ拠点整備

国

- ①クルーズ専用岸壁
(一部耐震強化岸壁)【延長410m】
 - ・年間365日の受け入れが可能
 - ・世界最大22万t級のクルーズ船受け入れが可能

ロイヤルカリビアン社

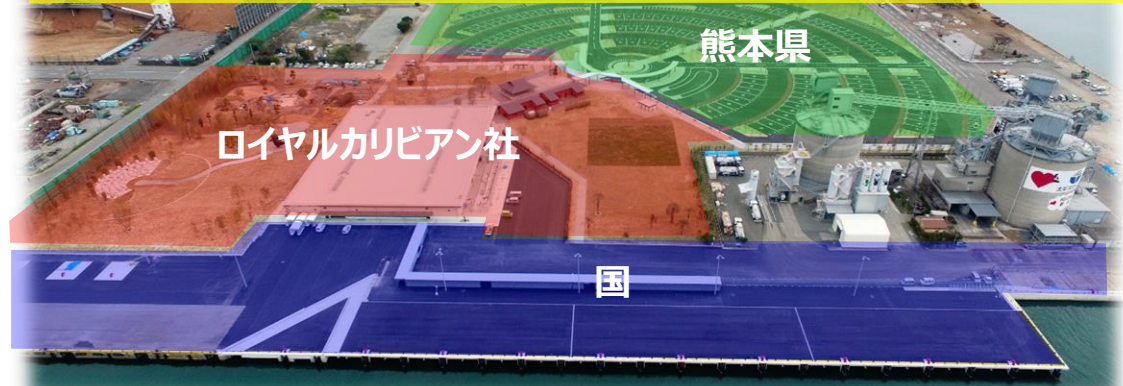
- ②旅客ターミナル
【延べ床面積 約3,600㎡】
 - ・出入国時の手続き時間等が短縮
- ③くまモンパーク
 - ・ビッグくまモン (6m)
 - ・日本庭園
 - ・くまモン合唱隊 (54体) など

熊本県

- ④駐車エリア【面積 約4.4ha】
 - ・大型バス 最大150台の駐車可
 - ・乗用車等 最大120台の駐車可

くまモンポート八代 (2020年3月完成)

★土・日・祝限定で開園 ()内は入園可能対象者
・令和2年10月31日～(八代市民) ・11月28日～(県民)
・令和3年10月23日～(全国)



10. 国際スポーツ大会の成功

2019女子ハンドボール世界選手権大会

2019年11月30日(土)～12月15日(日) 県内5会場

《参加国》 24カ国 計96試合

■ 大会結果(順位) 日本10位!



優勝 オランダ 写真提供: JHA



準優勝 スペイン



3位 ロシア

観戦者数 315,748人
(目標30万人)

■ 経済波及効果

2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
98.52億円 (91.58億円)	81.93億円 (76.35億円)	16.60億円 (15.23億円)

ラグビーワールドカップ2019™

熊本で2試合開催



フランス v トンガ
・2019年10月6日(日)
入場者数: 28,477人



ウェールズ v ウルグアイ
・2019年10月13日(日)
入場者数: 27,317人



■ 経済波及効果

ラグビーワールドカップ2019日本大会熊本開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
106.76億円 (97.91億円)	89.65億円 (82.23億円)	17.12億円 (15.67億円)

熊本地震関連の資料を記録・整理・蓄積し後世に遺す

行政機関、大学、企業、 団体等の協力を得て収集

- 災害対策本部会議資料
- 被害、避難生活、復旧・復興などの写真
- 各団体がまとめた検証・記録など

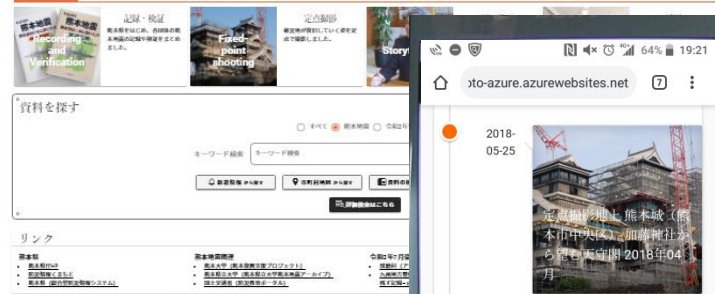


専用のウェブサイトで公開

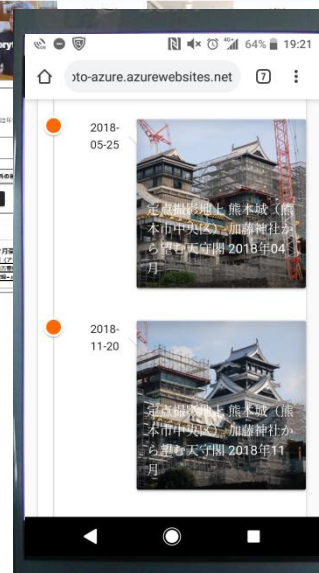
<https://www.kumamoto-archive.jp/>



ピックアップコンテンツ



スマートフォンにも
対応



利用

- 防災・減災対策
- 教育、研究
- アーカイブサイト内の資料を使用した啓発映像の制作など

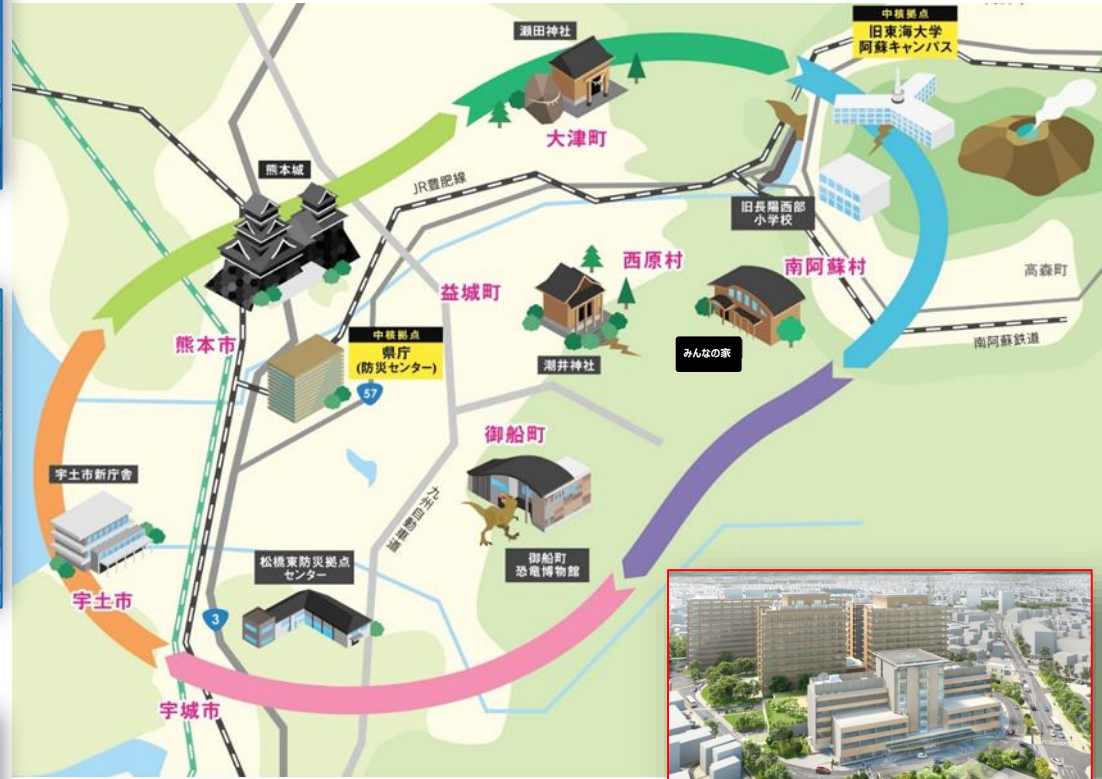


- ・令和4年3月末で約21万点の資料を掲載
- ・知事・市町村長インタビューや啓発映像なども掲載

【熊本地震震災ミュージアム 熊本地震 記憶の廻廊】18

県と市町村が連携し、震災遺構や情報を発信する拠点等を巡る回廊型のフィールドミュージアムを実現

回廊型の震災ミュージアムイメージ



熊本市：熊本城（拠点）



益城町：潮井神社（震災遺構）



宇土市：新庁舎（拠点）



南阿蘇村：旧長陽西部小学校（拠点）



大津町：瀬田神社と巨石（震災遺構）



県＜中核拠点－熊本市＞
：県防災センター 1階
：防災教育・展示施設



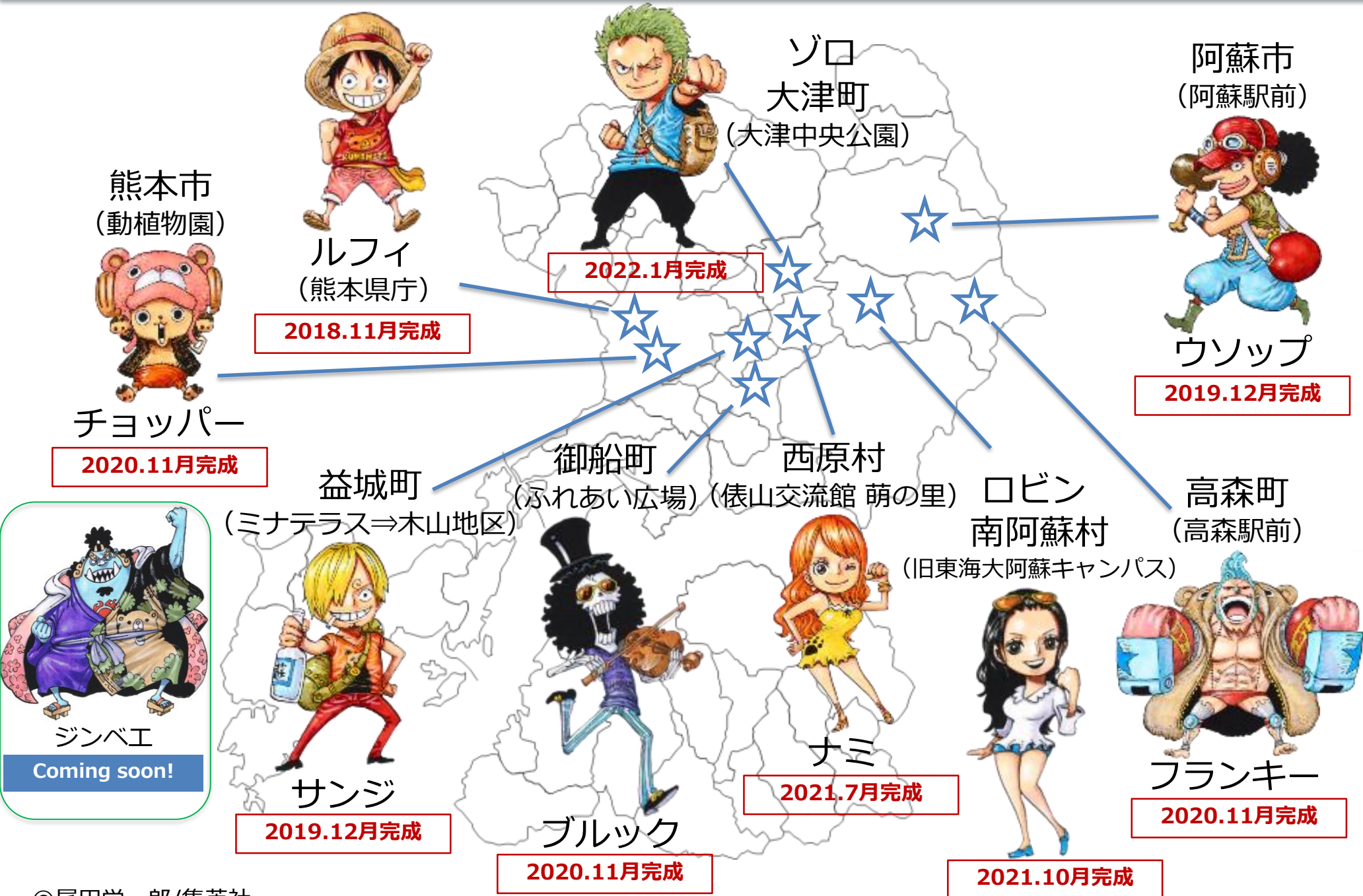
県＜中核拠点－南阿蘇村＞
：震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎
及び地表地震断層）
：体験・展示施設



御船町：街なかギャラリー（拠点）

ONE PIECE熊本復興プロジェクト

～ 麦わらの一味「ヒノ国」復興編 像の設置場所～



経済 の安全保障

熊本には多くの半導体関連企業が立地しています。さらに令和3年11月には、台湾の半導体製造大手TSMC社が日本で初めて菊陽町に進出することが決定されました。この国家的プロジェクトである新工場建設計画(※)を含め、更なる半導体産業の集積を進め、その波及効果が県内全域に広がるよう取り組むとともに、世界の半導体ニーズを支える「シリコンアイランド九州の復活」を目指します。

※2022年に工場建設に着手し、2024年末までに生産開始予定

県内の主な半導体関連企業



提供:東京エレクトロン九州株式会社
東京エレクトロン九州(株)



提供:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本テクノロジーセンター



提供:三菱電機株式会社
三菱電機(株)パワーデバイス製作所熊本事業所



提供:ルネサスエレクトロニクス株式会社
ルネサスエレクトロニクス(株)錦工場

半導体産業集積強化推進本部の設置



知事をリーダーとし、県庁の部局を横断した「半導体産業集積強化推進本部」を設置しました。人材の育成・確保や渋滞・交通アクセス対策などの課題解決に向けた取り組みを、全庁を挙げてこれまで以上のスピード感で進めています。



熊本の強みを生かした「5つの安全保障」

熊本が有するポテンシャルを最大限に生かして、日本の「5つの安全保障」に貢献することで、地方創生を実現し、50年後、100年後の熊本の更なる発展につなげます。

災害

に対する安全保障

熊本は、南海トラフ地震発生時の現地対策本部など、九州全体の広域防災拠点の役割を担っています。新たな防災センターの整備や、「命の道」となる中九州横断道路、九州中央自動車道の整備など、防災力の強化に取り組んでいます。

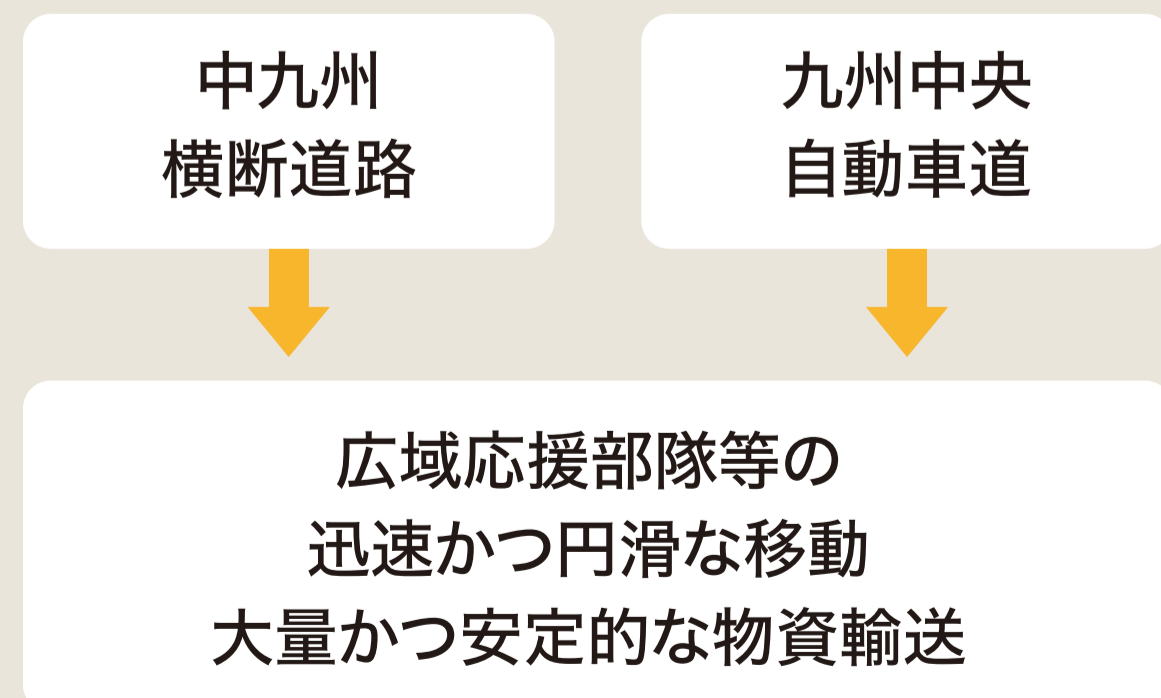
新たな防災センター

防災拠点施設としての機能や耐震性等の確保・強化及び熊本地震で被災した県央広域本部庁舎の復旧のため、県庁敷地内に新たな防災センターを建設中です。

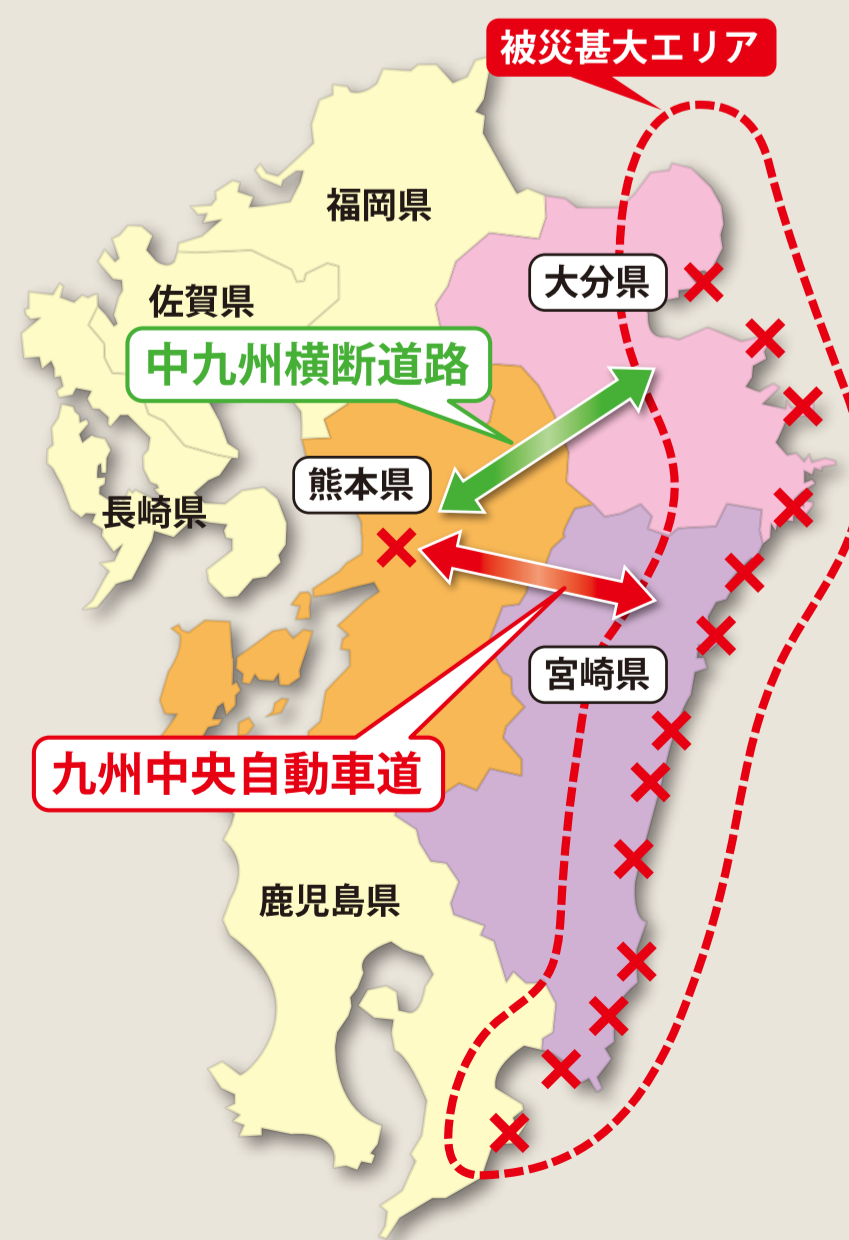


2023年度利用開始予定の新たな防災センターのイメージ図

命の道でつなぐ



九州の横軸の更なる強化へ



南海トラフ地震発生時の被災甚大エリア

食料

の安全保障

熊本は全国有数の農業県です。農地集積や担い手支援の取り組みを強化し、農産物を安定的に生産するとともに、グリーン農業の推進など、環境を守りながら、食料供給県としての役割を担っていきます。

農業経営のバトンタッチ



農業経営を安定的に継承し、多くの担い手を確保するため、令和3年6月に「くまもと農業経営継承支援センター」を設立しました。センターでは、後継ぎにお悩みの農家の方、経営を引き継いで農業を始めたい方の取り組みを支援しています。

くまもとグリーン農業

土づくりを基本として化学肥料や農薬を減らした、環境にやさしい「くまもとグリーン農業」を推進しています。この取り組みを通して、肥沃(ひよく)な土を育み、豊かできれいな地下水と自然環境を守ります。



「くまもとグリーン農業」のシンボルでもある農家姿のくまモン ©2010熊本県くまモン

感染症 に対する安全保障

現在、県も出資するKMバイオロジクス社が新型コロナウイルスの不活化ワクチンの開発に取り組んでいます。インフルエンザワクチンと同様の手法で製造される不活化ワクチンは、実績も十分あり、12歳未満の子どもたちへの接種も期待されます。

不活化ワクチン

感染力をなくした病原体や、病原体を構成するタンパク質からできており、接種することで病原体に対する免疫ができるものです。



不活化ワクチンの研究を行うKMバイオロジクス社

熊本発のワクチンが完成すれば、熊本から全国へ国産ワクチンを安定的に供給し、本県は、感染症対策で大きな役割を果たすことができます。

地球環境 の安全保障

※ゼロカーボンとは、CO2排出量を可能な限り削減した上で、やむを得ず排出される分を植物や森林が吸収することなどで相殺し、実質ゼロになる状態にすることです。

国に先じて「2050年県内CO2排出実質ゼロ(ゼロカーボン)」を宣言し、熊本の豊かな自然環境を守り、地球温暖化を食い止めるため、CO2削減に取り組んでいます。

地球温暖化対策の必要性

今以上の対策を行わなければ…
・猛暑日、熱帯夜が増加
・豪雨被害が頻繁に発生

私たちの暮らしに
大きな影響



災害級の豪雨が頻発

ゼロカーボンへできることから一歩ずつ

ゼロカーボン(CO2削減)のためには県民一人一人の取り組みが重要です。快適な暮らしや光熱費節約にもつながります。

HOP 今できることを

- 電気は小まめに消して照明はLEDに
- 買い物は使う分だけ、すぐに食べるなら手前から
- リサイクルのため、ごみの分別を徹底

STEP さらに一歩

- 家電を買い替える際は省エネタイプを
- 住宅の高断熱化と太陽光発電の設置
- 再生素材を利用した商品を選択

JUMP ゼロカーボンを日常に

- マイホームをゼロエネルギーハウスに
- 電気自動車、燃料電池自動車への買い替え



LED照明で省エネ



二重窓と内窓で冷暖房の設定温度を抑える



太陽光パネルで電力を自給